

平成 29 年度 前学期  
お茶の水女子大学 生活科学部 特別設置科目のご案内  
(ECCELL 社会人プログラム)

【前学期】

- 集中講義：ECCELL 子ども学ゼミⅢ (1 単位)  
集中講義：ECCELL 乳幼児教育論Ⅲ (1 単位)  
集中講義：ECCELL 子ども学研究法Ⅰ (1 単位)

ECCELL 子ども学ゼミⅢ (科目コード 未定) 1 単位

集中講義 4 月 8 日(土)、6 月 3 日(土)、7 月 1 日(土)、8 月 5 日(土) 13:20-16:30

担当：浜口順子・宮里暁美・松島のり子・内海緒香・安治陽子(お茶の水女子大学)

主題と目標

子どもの育ち・環境や乳幼児保育・教育等に関して、各自の問題意識や探究テーマを持ち寄り共有しながら、多様な参加者(受講者)が協働して学びの「場づくり」をすることを目指す。サイコドラマやラーニングカフェ方式などを活用し、相互に個々の考えを尊重し共有しながらアンラーン(学びほぐし)する場を形成するというものである。個々の研究したい主題を焦点化し、各自がもっともフィットする様式での研究発表・交流を行うことを一つの目標とする。

受講条件・その注意

特になし。

授業の形態

講義 討論 講読 実験 実習 実技 発表 演習

教科書・参考図書

授業の中で適宜用意。紹介する。

評価方法・評価割合

小論文(レポート)(割合:30%) 授業への参加態度(割合:40%) 発表(割合:30%)

授業日程・授業計画

①4月8日(土) 13:20-16:30

授業オリエンテーション、各自の問題意識や探究テーマを紹介しあい交流する。

②6月3日(土) 13:20-16:30 (@お茶大こども園)

特別講師を招き、サイコドラマの技法を用いて、保育的問題を体験的に相互に学ぶ。

③7月1日(土) 13:20-16:30

写真投影法を使ってワールドカフェ方式で、相互の子ども観・保育観や研究テーマに関する話し合いを行う。

④8月5日(土) 13:20-16:30

口頭発表、ポスター、映像など、各自もっとも適した表現方法による研究成果(到達点)の報告会を行う。

時間外学習

毎回の授業の前に課題が提示される。最終授業の後、発表論考集の原稿作成。

学生へのメッセージ

初めてこのゼミに参加される方も、これまで経験されている方も、新しい気持ちで学んでいただけるような場になると思います。

**ECCELL 乳幼児教育論Ⅲ (科目コード 未定) 1 単位****集中講義 6 月 24 日(土)、6 月 25 日(日)****担当：安治陽子 (お茶の水女子大学)****主題と目標**

子どもの発達には、胎児期から時間的に連続するプロセスの中にあり、子ども自身の「育つ力」と環境との相互作用を通して、その子らしく展開していくものである。乳幼児期の保育には、一人ひとりの子どもが自身の力を発揮しながら発達していくプロセスを見守ること、支えていくことが求められる。本授業では、近年特に都市部で量的拡大が進んでいる 0,1,2 歳児の保育のあり方を考えることを通して、子どもの発達をふまえた保育の質向上、0~6 歳までの発達を見通した保育カリキュラムおよびカリキュラムマネジメントの重要性について考える。

子どもの年齢や施設類型にかかわらず、それぞれの子どもの胎児期からの育ちとつながるところに、保育・教育実践が成立していることを意識化し、子どもが遊び、学び、生活して育っていく乳幼児教育・保育の場をより豊かに構築していくことを目標とする。

**受講条件・その注意**

特になし

**授業の形態**

■講義 ■討論 □講読 □実験 □実習 □実技 □発表 □演習

**教科書・参考図書**

授業で紹介する。適宜レジュメや資料を配布する。

**評価方法・評価割合**

■小論文 (レポート) (割合：50%) ■授業への参加態度 (割合：20%) ■討議 (割合：30%)

**授業日程・授業計画**

**6 月 24 日 (土) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30**

**乳児保育のありかたを考える**

- ①妊娠・出産・子育てをめぐる社会的状況と乳児保育のニーズ
- ②乳児保育をめぐる議論—「三歳児神話」の現代的意味と共同育児・アロマザリング
- ③乳児保育における子育て支援機能・相談支援機能
- ④乳児保育から考える「安全」「安心」の保育とカリキュラムマネジメント

**6 月 25 日 (日) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-15:45**

**乳児期から幼児期までの発達を見通した保育**

- ①感覚・知覚発達と保育環境構成
- ②運動・認知発達と遊び・学び
- ③情動・言語発達とコミュニケーション・関係構築
- ④乳児保育における「生活」(食事、睡眠、排泄、着脱、清潔等)について改めて考える

**時間外学習**

授業終了後、事例を考察する、文献を読むなどして、課題レポートを作成する。

**学生へのメッセージ**

保育の質について、そこで子どもがどのような経験をしているのか、それらの経験が子どもの今とこれからのにとってどのような意味を持つのか、という視点から考えたいと思います。

受講人数によっては、乳児保育の現場見学も行いたいと考えています。

**学生の問い合わせ先**

ECCELL 事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

**ECCELL 子ども学研究法 I (科目コード 未定) 1 単位****集中講義 8 月 19 日(土)、8 月 26 日(土)****担当：内海緒香 (お茶の水女子大学)****主題と目標**

テレビや新聞では、商品やタレントの人気に関するアンケート調査、経済動向、世論調査などに関するグラフや表を目にすることが多いと思います。統計学は集められたデータの解釈の基礎となっており、現代市民の必須の学問、ツールといっても過言ではありません。統計は、心理学・社会学・マーケティング・気象学・物理学などあらゆる分野で使用されています。保育に関する調査研究においても、多くの人から集めたデータをまとめ分析するという作業が必要になります。本講義では、データをどのように扱ったら良いかお悩みの方を対象に、①研究法の種類、②統計の基本的な考え方、③質問紙法を用いた簡単な調査と分析について実習を通し学びます。

**受講条件・その注意**

- Excel と Word の基本操作が出来るほうが望ましいですが、敢えて受講条件といたしません。グループ作業を前提にしていますので、助け合いの精神でお願い致します。
- 質問紙作成の実習では問題関心によりグループ分けを行います。申込みの際、テーマとなるようなキーワードを記載していただくと助かります。

**授業の形態**

■講義 □討論 □講読 □実験 ■実習 □実技 □発表 ■演習

**教科書・参考図書**

授業進行に必要なプリントやレジュメを適宜配布いたします。

**評価方法・評価割合**

- 授業への参加態度 (割合：60%)
- 実習成果 (割合：40%)

**授業日程・授業計画**

8 月 19 日 (土曜) ①9:30-11:00 ②11:10-12:40 ③13:50-15:20 ④15:30-17:00

8 月 26 日 (土曜) ⑤9:30-11:00 ⑥11:10-12:40 ⑦13:50-15:20 ⑧15:30-16:15

- ①オリエンテーション・さまざまな研究法
- ②実証研究のプロセス・変数とデータ
- ③質問紙を作ろう
- ④グループによる質問紙作成と回答回収
- ⑤⑥質問紙のデータ化と分析
- ⑦表とグラフの作り方
- ⑧まとめ

**時間外学習**

特に必要ありません。

**学生へのメッセージ**

研究法の基礎講座です。初回は調査法に基づいた実用的な内容にしようと考えておりますが、参加者数により、授業内容を変更する場合がございます。子ども学の研究で何が分かりにくいのか、どのような知識・技術をつけたいか申込みの際記入していただければ、授業の組み立てを通し可能な範囲でご要望にお応えしたいと存じます。

**学生の問い合わせ先**

ECCELL 事務局 nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp

\* 授業名をタイトルに入れて下さい